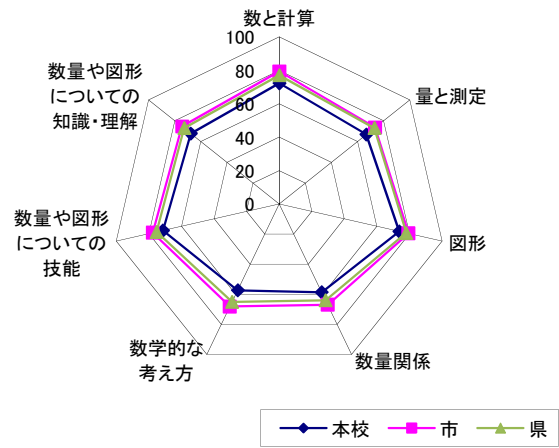


宇都宮市立上河内東小学校第5学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	72.2	79.3	77.1
	量と測定	66.7	73.4	72.9
	図形	73.8	79.4	78.0
	数量関係	58.7	67.0	64.0
観点	数学的な考え方	57.5	68.2	65.1
	数量や図形についての技能	71.4	77.7	75.4
	数量や図形についての知識・理解	67.7	74.5	72.8



★指導の工夫と改善, ○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○全体的には、市の正答率と同程度であった。 ○整数のかけ算、小数のしくみについては、市の正答率を上回った。 ●わり算の文章問題、がい数の表し方は、市の正答率を下回った。	・わり算、がい数については、第5学年でも学習する内容なので、ていねいな説明を心がけるとともに、習熟のためのプリント学習を増やすなど、特に重点的に指導し、定着を図る。
量と測定	○長方形の面積については、90.5%の正答率で市の正答率と同じであった。 ●面積の単位の関係性の理解(1㎡＝10000cm ²)については、正答率が23.8%で市の正答率を10ポイント程度下回った。	・面積の単位の関係性に関連して、第5学年では体積の単位の関係性について学習する。具体物の操作など体験活動を多く取り入れ、実感として理解できるような指導を行いたい。
図形	○直方体の平行な面、立方体の展開図については、いずれも90.5%の正答率で市の正答率と同程度か上回った。 ●辺どうしの垂直な関係の理解、ひし形の作図については、市の正答率を下回った。	・図形の学習については、何度も作図をしたり具体物を操作したりするなどの体験活動を多く取り入れ、実感として理解できるような指導を行いたい。その上で、それぞれの図形のもつ性質について系統立てて覚えられるような指導を心がけたい。
数量関係	○四則混合の計算順序の理解、四則混合の文章題については、正答率が高く、市の正答率とほぼ変わらない。 ●分配法則の理解について、正答率が低く、市の正答率も下回った。 ●折れ線グラフと表についての記述式の設問の正答率が低く、市の正答率も下回った。	・分配法則については、結合法則などの計算のきまりも含めて、機会をとらえてていねいに指導したり習熟を図るための練習問題を解かせたりしていきたい。